

# 採用担当者からのメッセージ



警察庁長官官房人事課(長官官房企画官)

**千代延 晃平**

*Kohei Chiyonobu*

## 治安のプロとしての矜持

本年3月11日に発生した東日本大震災と、それに続く福島第一原発の事故。被災地はもちろんのこと、被災地以外においても、普段は感じないような安全・安心への切迫した危機感を持たれた方が多かったのではないのでしょうか。

この未曾有の大災害に対し、現在、全国警察が一体となり、救出・救助、御遺体の捜索・身元確認、交通規制、被災地域の治安維持等に従事しています。この大規模なオペレーションの中核的存在である警察庁では、全部局が様々な形で全国都道府県警察の指揮・調整に当たっており、その中でⅡ種採用警察官は各専門分野のスペシャリストとして、時には被災地に足を運びながら、持てる能力を遺憾なく発揮しています。こういった警察庁の活動は、被災者の方々の安全確保や、国民の不安感解消に直結しているのです。

言うまでもなく、警察は国民の生命、身体、財産の保護という崇高な責務を負っています。だからこそ、治安のプロたる幹部になることを期待されているⅡ種採用警察官には、健全なバランス感覚と高い使命感が必要と考えています。全国の警察職員が、震災後の様々な困難な活動に敢然と立ち向かうことができる原動力となっているのは、まさにこの使命感なのです。

また、あらゆる警察業務においては、プロとしての決断、判断が求められます。どんな困難な事象でも真正面から向き合い、決断を下し、その決断を通じてプロとしての責任を果たす。これは簡単なことではありませんが、我々が築き上げてきた教育訓練システムや現場での実務を通じて、一人一人のⅡ種採用警察官がプロとして成長していきます。私は警察庁職員に他省庁にはない「人間的な魅力」を感じ、随分昔にこの世界に飛び込みました。現場において生身の事象を扱い、様々な人々との出会いを重ね、悩みながら自ら決断するといったプロセスを通じて涵養された「治安のプロとしての矜持」が、人間的な魅力につながっているのかもしれない。

情熱を持って長い職業人生を過ごしたいと考えている皆さんと思いを共有できることを楽しみにしています。